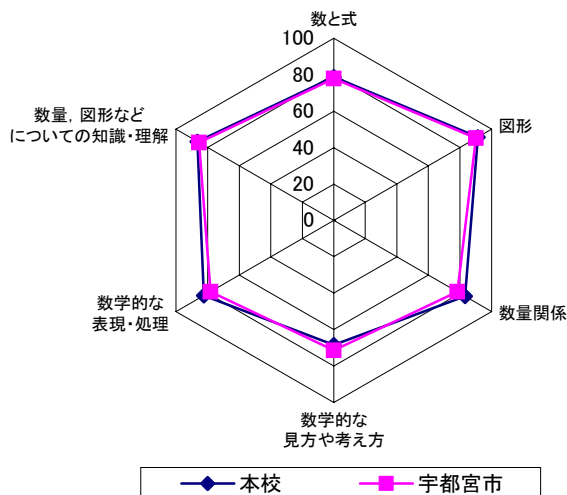


宇都宮市立上河内中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	78.8	77.9
	図形	91.4	90.2
	数量関係	83.3	78.5
観点別	数学的な見方や考え方	68.5	71.3
	数学的な表現・処理	82.4	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	86.4	85.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (78.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均よりやや高い。正の数・負の数の計算、文字式の計算はおおむね理解されている。式の値を求める問題は市と比べると14.7ポイント高い。数量を文字式で表す問題は-2.2ポイント低い。方程式の計算や数量の間の関係を等式で表すこと、方程式の利用については定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も正負の数、文字式、方程式の計算を反復練習して、さらに計算力を高めていきたい。文字式を使った式の意味やその使い方の理解が十分ではないのでそれを復習させていくことと、2年生になってからも、学習する機会があるので、その中で1年の内容も振り返りながら、指導していきたい。
図形 (91.4%)	<ul style="list-style-type: none"> どの問題も85～98%の正答率なので、平面図形についての理解はほぼ満足できる状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の図形の学習の基礎となる内容である。さらに定着を図るとともに、授業では操作活動などを取り入れ、興味・関心を高め、2年生の図形の学習につなげていきたい。
数量関係 (83.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均を上回っている。表から比例しているものを選ぶ問題、比例のグラフ、反比例のグラフ、比例の式を作る問題、反比例の表から式をつくる問題は十分定着している。しかし比例の利用は定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例反比例を利用したさまざまな問題に取り組み、身の回りの事象を関数的にとらえそれを利用できるような力を身につけさせたい。